



GOOD DESIGN
AWARD 2012

<2012 年度グッドデザイン賞>

“高いデザイン性” と “生活環境の向上” を両立

設備・配管集約システム

インテリアバルコニー

『S-マルチコア』 & 『LDM』 ダブル受賞！

住友不動産株式会社（本社：東京都新宿区西新宿 2-4-1、代表取締役社長：小野寺研一）では、分譲マンションの新たな試みとして開発した“設備・配管集約システム”『S-マルチコア』、並びに“インテリアバルコニー”『LDM』が、財団法人日本デザイン振興会主催の 2012 年度グッドデザイン賞（住宅・住宅設備部門）を受賞いたしましたのでお知らせします。

今回の『S-マルチコア』と『LDM』は“高いデザイン性”と“生活環境の向上”の実現を両立させる取組みとして弊社が独自に開発した商品企画です。

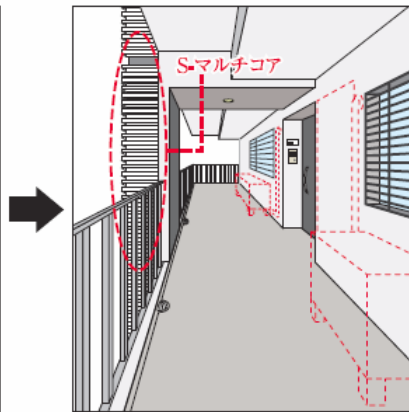
なお、『S-マルチコア』は、すでに竣工している「シティハウス東中野」、「シティハウス南品川」や、今後発売予定の「シティハウス浦和高砂」などに採用しており、『LDM』は、その開発コンセプトを今後発売予定の「シティハウス月島駅前ベイブリーズコート」に取り入れています。

弊社は“より良い住まいの創造”のため、引続き“デザイン性”のみならず“生活環境の向上”を目指した商品開発に注力してまいります。

◆ “設備・配管集約システム” 『S-マルチコア』



<一般の外廊下イメージ>



<S-マルチコア採用の外廊下イメージ>



<施工例・シティハウス南品川>

◆ “インテリアバルコニー” 『LDM』

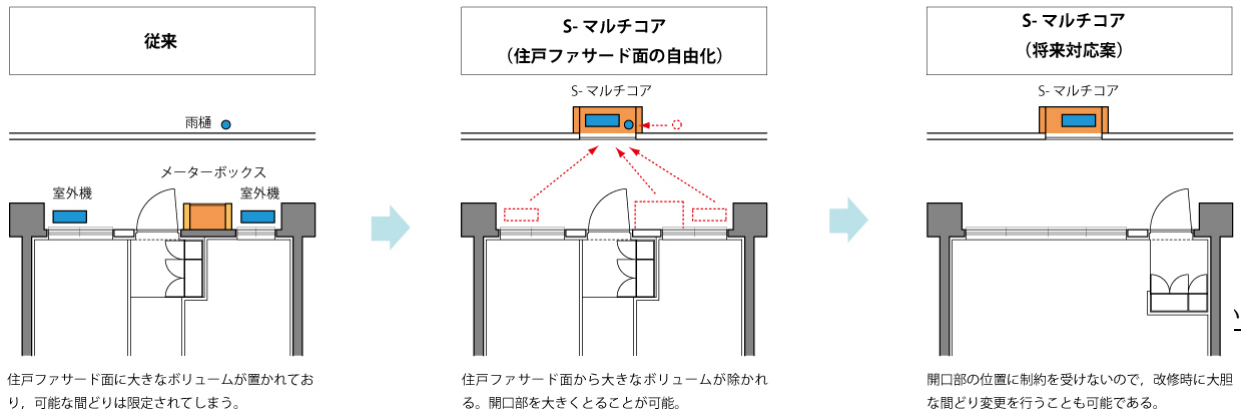


< インテリアバルコニー『LDM』の空間利用イメージ >



◆『S-マルチコア』の特長～美観とメンテナンス性の両立

従来のマンションでは玄関や窓まわりに設置していた各種配管等、メーター類、空調室外機を外廊下の屋外側に設けたひとつのシャフトに格納し、すっきりと快適な外廊下を創り出します。また、格納部分にはルーバーデザインを施し、垂直ラインのシャープなアクセントが建物外観のデザイン性を高めています。さらに、生活環境の質とデザイン性を高めるだけでなく、設備と躯体の取り合いを少なくすることでメンテナンスやリノベーションが容易になり、建物のライフサイクルコストが低減されることで、サステナブル社会（持続可能な社会）の実現に向けた建物の長寿命化を図ることができます。



本件は、「美観を損なうとともに建築要素としては取り扱いが難しく、従来のマンションでは、建物内に隠されていた配管・メーター類などをひとつのデザイン要素としてまとめ、外部に露出させるという“逆転の発想が生み出した製品”である」と評価されています。



<『S-マルチコア』採用物件 シティハウス浦和高砂・完成予想図>

平成 24 年 12 月販売開始予定
 JR「浦和」駅徒歩 5 分
 総戸数 95 戸・地上 18 階、地下 1 階建て
 全戸南向きの免震マンション
http://www.sumitomo-rd-mansion.jp/shuto/urawa_t/



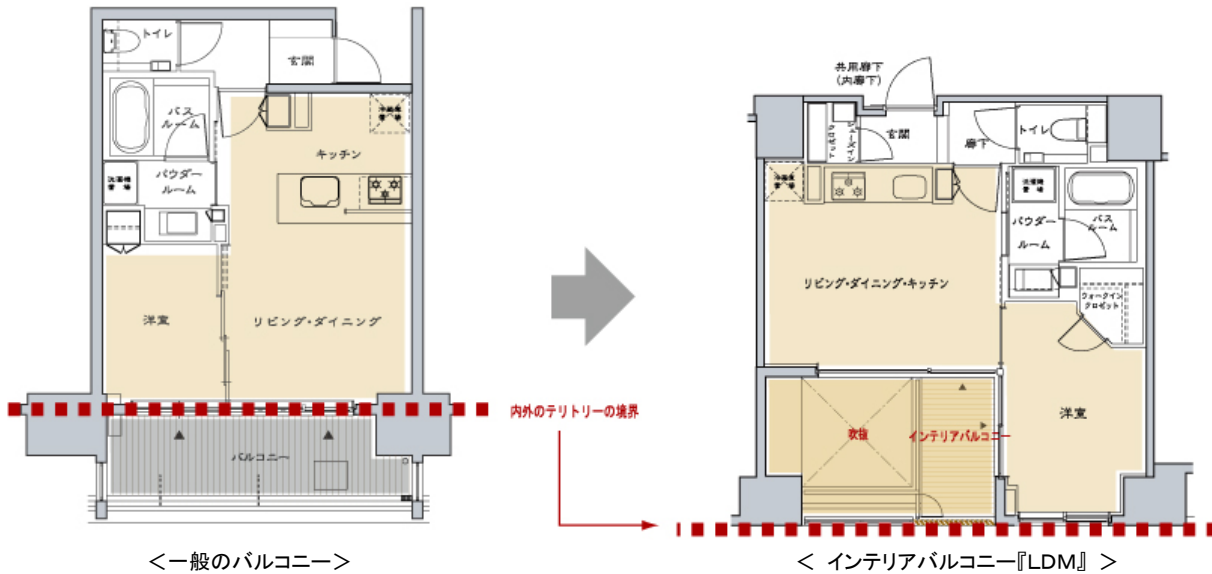
<施工例・シティハウス南品川>



<施工例・シティハウス東中野>

◆『LDM』の特長～新たな間取りの提案

『LDM』は、これまでnLDKという屋内の部屋構成のみの概念によって硬直的に定義付けられていたマンションの空間構成に、バルコニーという屋外空間を室内に取り込むという新機軸を打ち出した都心型マンションにおける新たな間取りの提案です。



交通利便性や資産性の高さなどが人気の都心型マンションは、広い居住スペースが得がたく、空間をいかに無駄なく有効に使えるかが、生活の質に直結します。また、周囲との見合いといった都会ならではの事情により、バルコニーのプライバシー保護が難しいケースも見受けられました。そこで、コンパクトでも広く使える間取りと、プライバシーに配慮しつつも開放感のある空間を実現するため、これまであまり有効活用されていなかったバルコニーに着目したのがインテリアバルコニー『LDM』です。インテリアを思わせる設えと、可変性の高い配置にすることで、寝室やリビングの一部として、あるいは全体をオープンな空間として利用することができます。



<インテリアバルコニー『LDM』の空間利用イメージ>

バルコニーと吹抜を組み合わせ合わせた立体的な空間構成は室内に明るさと開放感をもたらします。バルコニーの外側には周囲からの視線を遮る目隠しルーバーを取り付けており、プライバシー性をさらに高めることが可能です。例えば日中はサンルームとして、また、夜間はバルコニーに明かりを灯してインテリア性を高めるなど、空間の広がりを感じることができます。

本件は、「主に室外機置場や物干しスペースとなっていたバルコニーに着目したうえで“実際に使用できるオープンスペース”として確保し、外部からのプライバシー保護に配慮しながら、内部からはリビングの延長空間として視覚的にも広がりを持たせ、豊かな空間を作り上げた」と評価されています。

<本件に関する報道関係者からのお問合せ先>

住友不動産株式会社 広報課 担当：田中 TEL 03-3346-1042